

としょかん だいごう 図書館だより 第3号

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。長引くコロナ禍で気になるのは、子どもたちの「健康」はもちろんですが、「心」に与える影響も見逃せません。こんな時こそ「健やかな心」を育てる『道徳教育』を見直しませんか。子どもたちだけでなく、みなさんの心にもきっと「気付き」があるとと思います。


それともう一つ、「秋分の日」を過ぎてから一気に季節が夏から秋へと変化してきました。いきなり変わるものがあるれば、ゆっくり変わっていくものもあり、またどんなに回りが変わっても決して変わらないものもありますね。

そこで今回は「道徳について考える本」の紹介と、「変わる話、変わらない話の本」を紹介します。

道徳について考える本の紹介


本の名前：道徳図書館 みんなといのちの章 低学年編
作者：吉本恒幸/監修 道徳図書館編集委員会/企画・編集
出版社：文溪堂 **対象学年：**低学年向け

おすすめポイント：みんなが使う「公共物」を考える『黄色いベンチ』をはじめ、他の国の子も同じなんだと感じる『おとぎ話を聞きながら』や、かけがえない生命について書かれた『ふしぎな音』など、低学年から考えることが大切な題材を取り上げたお話がのっています。そしてそのお話をどう捉えるのかを子どもたちに考えさせる「道徳教育の手引き」となる本です。




本の名前：道徳図書館 みんなといのちの章 中学年編
作者：吉本恒幸/監修 道徳図書館編集委員会/企画・編集
出版社：文溪堂 **対象学年：**中学年向け

おすすめポイント：社会の「ルール」と「マナー」を考える『雨のバス停留所で』や、人が見ていないところでも一人一人が役わりをもって働いていることを知る『バックヤードでも』や、毎日の生活の中にある「美しい姿や心」について考える『花さき山』などの話がのっています。中学年ではおもに社会や回りの人との関わりを考える題材を取り上げています。



本の名前：道徳図書館 みんなといのちの章 高学年編
作者：吉本恒幸/監修 道徳図書館編集委員会/企画・編集
出版社：文溪堂 **対象学年：**高学年向け

おすすめポイント：「だれもが人として平等である」と訴え、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の子どもの頃の話『マーチン少年の夢』や、現代を支える伝統と文化について書かれた『伝統の知恵と技術が支える塔—東京スカイツリー』や、人生をよりよくするために挑戦し続ける「国枝慎吾」を描いた話『プロ軍いすテニスプレイヤー』などがのっています。高学年ではおもに「人としての生き方」と、「自分の生き方を高めるため」の指針を示す内容になっています。



か はなし か はなし ほん しょうかい
変わる話、変わらない話の本の紹介

ほん なまう
本の名前：ちいさいおうち

さくしや ばーじニア・リー・バー튼/作 石井桃子/訳

しゅつぱんしゃ いわなみしよてん たいしやうがくねん ていがくねんむ
出版社：岩波書店 対象学年：低学年向け

おすすめポイント：世界中の数ある絵本の中でも、間違いなくトップ10に入ると思われる名作中の名作。ずっとむかし、いなかの丘の上にあったちいさいおうちのお話です。ちいさいおうちは、いなかの豊かな四季に囲まれてしあわせでした。しかしやがて道路ができ、まちができて回りの景色がどんどん変わっていき

ますが、ちいさいおうちだけが取り残されてみすばらしくなっていました。でもある日、家の前を通りかかった女の人がじっとちいさいおうちを見ているうちに、このおうちがむかし自分のおばあさんが住んでいた家だったことに気が付いたのです。そしてそのちいさいおうちはやがて・・・。



ほん なまう
本の名前：ホームランを打ったことのない君に

さくしや はせがわしゅうへい/作

しゅつぱんしゃ りろんしゃ たいしやうがくねん ちゅうがくねんむ
出版社：理論社 対象学年：中学年向け

おすすめポイント：ルイは、少年野球チームの男の子。今日の試合の大事な打席でもダブルプレーに打ち取られ、敗戦を迎えます。もっとバッティングがうまくなりたいと思っていたとき、近所に住んでいる元高校球児の仙ちゃんに出会います。仙ちゃんはルイにバッティングのアドバイスと、一流のプロ野球選手の話、そしてあきらめないことの大切さの話をしてくれました。家に帰るとき、ルイは夕暮れの公園で仙ちゃんがスローモーションでバッティングフォームの練習を一人黙々としている姿を見ました。

家に帰ってお母さんに仙ちゃんと会ったことを話すと、お母さんから仙ちゃんは去年大けがをして今は野球のできる体ではない、と聞かされます。しかしルイには仙ちゃんがまだあきらめていないことが痛いほどよく分かりました。そして自分もあきらめず前に進む決意をします。その夜、ルイは仙ちゃんがホームランを打ち、ゆっくりとダイヤモンドを回る夢を見ました。物語はここで終わりますが、ルイがその後屈強なスラッガーに姿を変えることは、想像に難くないのではないのでしょうか。



ほん なまう
本の名前：グレタのねがい

さくしや ばーれんてぃな・きゃめり二/著 杉田七重/訳

しゅつぱんしゃ にしむらしよてん たいしやうがくねん こうがくねんむ
出版社：西村書店 対象学年：高学年向け

おすすめポイント：15歳のグレタ・トゥーンベリは、地球温暖化からこの地球を守るためには現状を変える必要があると考え、国連の気候変動会議で世界中のリーダーを前に「誰も何もしなければ、気候変動の責任を未来の世代が引き受けることになる。自分の子どもたちの将来を考えて下さい。私たちはどんどん破壊されていく世界で生きていかなければならない。」と訴え、「あなたたちは間違っている」としかりとばし、「変わらなければだめだ」と尻をたたきました。そして、その姿は確実に世界を変えたのです。



今回は、『変わる』をテーマに本を紹介しましたが、先日「変わった」と実感した出来事がありました。1年生が給食中、急ぎょ図書館に来ました。教室の消毒が済むまで少し待っている間、書架から『なぞなぞライオン』を取り出し、一番はじめにでている「上は大水、下は大火かってなんだ？」という最もポピュラーな、なぞなぞを出しました。しかしみんな首をかしげるばかりで反応が無いのです。そこへ担任の先生がそっと私に小聲で、「今はボタンを押せば『お風呂』が沸くので、この子たちには無理です。」と耳打ちされました。ああ～、時代は確かに変わっていたのであった。 また次号でお会いしましょう。